

令和3年度事業報告書

〔 令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで 〕

I 事業の実施状況

令和3年度は、低金利状況が続く中で、金融市場の動向を見極めつつ、基本財産の効率的な運用を図り収入の確保に取り組むとともに、引き続き管理費等の経費節減に努め、令和2年2月に策定した第2次中期経営計画(令和2年度～令和6年度)に基づき実施事業のPDCAを行った他、事業調査委員会において実施事業の効果検証や地域人材育成のための新規事業等について審議を行った。一方、事業運営については、事業の見直しに関する答申に基づき、社会経済情勢の変化に対応した事業展開を基本的な視点とし、財政的に限られた協会の運用資源を効果的に活用することを踏まえ、当協会の目的である地域における文化の高揚及び地域の振興を図るための諸事業を実施した。

1. 市町村等振興助成事業

・地域振興事業

地域の特性を生かした個性豊かな地域づくりを推進するため、市町村等が行う事業を対象に助成を行うものである。(原則として国及び県の補助対象となるものを除く。)

令和3年度は、40市町村及び3広域市町村圏事務組合へ69件、6,509万535円の助成を行った。なお、事業項目別の件数、市町村実施数、広域圏実施数、助成額は次のとおりである。

事業項目	助成件数	助成先	金額(円)	備考
ア) 地域活性化推進事業	13	11市町村 2広域圏	14,915,038 3,000,000	市民大学事業、 公共交通活性化推進事業等
イ) 地域産業振興事業	5	5市町村	6,750,000	EV普及促進 プロモーション事業等
ウ) 地域環境保全推進事業	7	7市町村	9,428,000	エコアイランド宮古島人材育成 プログラム開発事業等
エ) 地域文化振興事業	7	6市町村 1広域圏	4,856,000 403,758	ミュージックフェスタ開催 事業等
オ) 地域国際交流推進事業	0	助成なし	0	コロナ禍による廃止
カ) 地域情報化推進事業	2	2市町村	2,908,000	小・中学校ICT支援事業等
地域学力向上支援事業	35	35市町村	22,829,739	地域学力向上支援事業等
合計	69	40市町村及び 3広域圏	65,090,535	

2. 地域活性化助成事業

県内の地域づくり団体等が、地域の振興及び活性化を目的として、地域づくりの担い手となる人材育成及び地域づくりに関する情報の共有等を図るために実施するワークショップ、フォーラム、セミナー等の交流事業の企画に対し所定の審査を経て選定された事業に助成する事業である。

令和3年度は、地域づくり団体等が行う第1部の24事業に対し592万5,000円の助成を行い、県又は市町村が行う地域の活性化に資する事業を支援する第2部の1事業に対し、65万円の助成を行った。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止した団体が2件あり、今後、コロナ渦における当該事業の実施方法等について工夫していくこととする。

平成29年度から開始した優良事例の表彰について、副賞として表彰した団体の職員を地域づくり団体全国研修交流会に派遣予定のところ、令和3年度は同大会が中止となったため、団体の活動及び基盤強化に資する他の代替案の実施を検討したが、いずれも延期となっている。

また、令和3年度分の表彰として令和2年度の地域活性化助成事業を活用した団体の中から特別賞1団体を決定した。

なお、令和3年度の助成団体及び事業内容は、次のとおりである。

【第1部：前期】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	お父ring沖縄	新しい父親がみんなのヒーローになる。「お父ringマイスター」養成事業	「父親」について体系的に学ぶ機会を設け、「子育て」「働き方」「地域づくり」を正しく理解する「お父ringマイスター養成講座」を開催した。本事業を通して、主体的に子育てに参画し、新しい父親のあり方について普及啓発する「お父ringマイスター」を2名養成することができた。
2	おもろまち自治会	おもろまち想火	地域住民で制作したランタンを灯すイベント「おもろまち想火」の開催を予定していたが、コロナの影響で中止となった。また、那覇市制100周年を記念し、地域の戦跡「シュガーローフ」にアジサイを植樹するイベントを実施するとともに、おせっかい協会の高橋理事長によるトークセッションを通して、地域住民の繋がりによる「共助」の大切さを再認識できた。
3	広栄自治会	独居老人見守り事業、研修会実施	独居老人見守り体制の構築を目的として、活動の在り方を地域住民で考えるための講演会、ワークショップを開催した。本事業を通して、地域の独居老人の状況把握及び情報の共有ができ、自治会員の資質向上などに繋がった。
4	沖縄県認知症行方不明者家族の会	SOS認知症行方不明防止模擬訓練SAM（通称：サム）－Sketch of Anchor Mapping2021－	専門家を招聘し、認知症行方不明防止に係る講座及び実践模擬訓練を実施した。本事業を通して、地域住民と危機感共有の仕組み作りを共有し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりモデル構築に向けた行方不明者捜索のネットワーク基盤づくりに繋がった。

No.	団体名	事業名	事業内容
5	地産地消・食育の日実行委員会	糸満市観光農園地産地消・食育の日活性化事業	「食」と「農」への理解促進を目的に、食育講習会及び食の体験イベントを開催した。講習会では、地元の高齢者と若い世代が交流しながら、手作りの大切さを伝えることができ、また、農家との触れ合い体験では、農業を身近に感じてもらった。本事業を通して、参加者に「地産地消の大切さ」を共有することができた。
6	みんなのあそびば	子どもと大人みんなのあそびば～Yume's Smile Kitchen～	食を通じて、誰でも気軽に集まることができる場を提供することを目的として、体験型イベント及び子ども食堂を併せて開催した。本事業を通して、誰でも気軽に子ども食堂に行けることを周知することができ、また、地域の人が多く関わることで、地域の居場所づくり、地域交流の場づくりを行うことができた。
7	南桃原自治会	個性豊かで住みよい地域社会を構築するための地域活性化事業～新たな景観から、さらなる住みよいまちへ～	地域の小学生とシニア世代の世代間交流を目的として、南桃原公民館公園を活用した新名所「あじさい園」づくりを実施した。併せて、小学5年生を対象に地域の散策及び勉強会を実施することで、地域への理解を深めてもらい、地域愛の醸成に繋げることができた。
8	伊計自治会	伊計島憲章制定事業	伊計島憲章の制定を目指し、地域住民を対象としたワークショップを開催した。ワークショップでは、地域住民が改めて地域のことを考えるきっかけとなった。また、完成した憲章を活用し、島外から訪れる人に島の環境・文化を理解してもらうことと併せ、地域住民の自然保護及び文化財、地域文化の保全意識を高め、次世代への文化継承に向けた機運を高めることができた。
9	保良自治会	保良集落における地域資源発掘・共有化事業	地域資源を発掘し、価値を共有化することを目的とした地域住民によるワークショップを開催した。若者世代の参加もあり、次世代の地域を担うリーダーの卵を発掘することができ、また、地域の課題も共有することで今後の持続可能な地域づくりに繋げることができた。
10	あかゆらぬ花会	花と緑の豊かな里づくり会議	生物の専門家を招聘し、専門家からのアドバイスを受けながら地域の自然環境の観察会及び勉強会を実施した。本事業を通して、地域の希少生物や水辺の環境への理解が深まり、自然環境保全の意識向上に繋げることができた。
11	東村慶佐次区	慶佐次今昔展の開催	区民及び区出身者に協力頂き、個人で所有している古い写真を収集し、デジタル化を進め、デジタル化した写真を活用した「慶佐次今昔展」を開催する。本事業を通し、時代を担う青少年及び地域住民の郷土愛の醸成に繋げる。
12	荻道自治会	第34回 荻道展示会	「第34回荻堂展示会」として、農作物展示即売会、地域住民の作品展示、ミニコンサートなどを企画していたが、コロナの影響により、屋外で実施できる「菊の玉造 品評会」に限定して開催した。
13	一般社団法人久米島の海を守る会	久米島の海を守ろう！グリーンベルト植栽体験	圃場からの赤土等防止対策の一つであるグリーンベルトとして、島内の子どもたちと一緒にアカバナ（ハイビスカス）の植栽体験を行った。本事業を通して、「赤土」への理解を深めるとともに、環境を保全する心を育むきっかけとなり、島の環境保全に資する人材育成に繋げることができた。

【第1部：後期】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク	子どもの貧困対策における学習・生活支援事業	小学生低学年を中心とする子どもを対象に、冬休み期間中、プログラミングの基礎を学習する講座を開催した。各小学校間でのプログラミング授業での取り組みに対する格差があるなか、本事業を通して、これらの格差の是正にも繋がるのが理解できた。また、貧困家庭・ひとり親家庭の子ども達にも学習の楽しさが伝わり、子ども達が将来に向けて、生きる希望を持つきっかけに繋げることができた。
2	豊崎・美らSUN会	豊崎魅力発見・発信ワークショップ	豊崎在住の住民と豊崎に立地する企業を対象に、豊崎の魅力を再認識し、情報発信の手法を学ぶためのワークショップを開催した。本事業を通して、住民と企業の交流促進を図りながら、地域の魅力を再認識するとともに、効果的な情報発信の技法を学ぶことで、今後の豊崎エリアの魅力向上に繋げることができた。
3	南風原区自治会	後世に伝えたい！勝連南風原区恩人「前浜三良（カッチンパーマー）」プロジェクト	勝連南風原区の恩人「前浜三良（カッチンパーマー）」について学ぶ勉強会を開催し、地域住民で学びを深め、絵本を作成した。作成した絵本を活用し、小学生を対象に読み聞かせを実施し、カッチンパーマーの認知度向上に繋げるとともに、地域の結束を深めることができた。
4	公益社団法人島尻青年会議所	南城市LoveLocalFoodプロジェクト～地元食材を食べて地域と健康を守る～	食育に関するDVD及びポスターを作成し、南城市の小学生を対象として、給食時間に食育学習を実施した。事業を通して、食の大切さ、生産者への感謝の気持ちを醸成し、地産地消の意識を高めることができた。
5	PTA津波古支部	第2回津波古こども文学賞募集事業	地域の児童・生徒から作文を募集する「津波古こども文学賞」を実施し、子どもたちの基礎学力の向上を図るとともに、青少年の健全育成に繋げることができた。
6	辺土名大通り会	辺土名の魅力いっぱいプロジェクト	地域住民が地元の魅力に気づき、まちづくりに主体的に参加することを目的として、全3回のワークショップを開催した。併せて、地域の魅力を盛り込んだ情報発信ツールの作成を行い、地域住民の人材育成に繋げることができた。
7	一般社団法人スポーツツーリズム沖縄	コジコジボールで姿勢改善	コロナ禍で屋外での運動が減少しているなか、健康維持の増進を目的として、自宅のできるセルフケアの講演及び実技実習を開催した。事業を通して、参加者の健康意識の醸成することができた。
8	古知屋村自然を守る会	メーガー洞周辺の環境改善事業	地域の拝所であり、観光体験プログラムとして活用されている地域資源「メーガー洞」において、近年、降雨による土砂の堆積などで環境が悪化していることを受け、専門家を講師に招き、土中環境を改善する手法を学ぶワークショップを開催した。事業を通して、地域の環境保全意識の醸成に繋げることができた。

No.	団体名	事業名	事業内容
9	飛び安里研究会	飛び安里関連事業	南風原の偉人「飛び安里」について、認知度向上を目的とした講演会及びシンポジウムを開催した。シンポジウムでは、「歌声運動」、「創作舞踊」などの音楽・伝統文化を活用することで広く啓蒙し、地域住民の飛び安里に関する理解を深めるきっかけとなった。
10	南風原町PTA連合会	子育て講演会	専門家を講師に招き、家庭や地域における子どもとの接し方等について学ぶ講演会を開催した。講演会では、講師の経験で得られたエピソードを通して、子ども達へのアプローチの仕方などの紹介があり、よりよい親子関係を醸成に繋がった。
11	波照間★ロボットクラブ	「Let's プログラミングロボット製作♪」波照間プロジェクト	波照間島の中学生を対象に、大学から専門家を講師に招き、ロボット製作に関するワークショップを開催した。事業を通して、学生の問題解決能力や豊かな創造力を育み、青少年の健全育成を図ることができた。

【第2部】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	久米島町	田畑づくりから始まる100年先の森づくり	久米島の山林は人との良いバランス関係を保ち里山として機能していた。しかし、高齢化や過疎化、農地継承者問題と共に、地産地消の文化が薄れ里山消失の危機に直面している。かつての自然と人との良いバランス関係を保っていた里山を再生するために、 ①里山農業に関するワークショップを開催 ②森バスの運航実証 ③官民連携で里山づくりを考えるチームの構築 を実施した。地域住民の環境保全の意識や地域への愛着を醸成すること、地域が連携し、地域に根差した継続的な活動に繋げることができた。

3. コミュニティ活動促進事業

地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛上げることを目指すため、市町村又は市町村が認めるコミュニティ組織が、コミュニティ活動に直接必要な備品の購入に対し助成する事業である。

令和3年度は、5団体(宜野座村福山区、嘉手納町自治会、県営与那原団地自治会、阿波連区自治会、多良間村塩川字会)に230万9,000円の助成を行った。

4. 地域振興研究助成事業

県内の研究機関等が行う、沖縄の地域振興及び文化の高揚に寄与することを目的とする政策提案型の研究に対し助成する事業である。

令和3年度は、市町村へのアンケートを踏まえて協会が設定した研究テーマに沿った内容の研究を公募し、採択した『沖縄県における学童期の子どもの居場所に関する基礎的研究(キリスト教学院大学)』、『幼児教育における園庭を活用したESD沖縄モデルの創出(琉球大学)』、『地域や社会の課題に対して主体性・創造性を育む特色あるモデル教育プログラムの構築(AIO)』をそれぞれ研究テーマとする3団体へ90万5,612円の助成を行った。

5. 地域づくりイノベーション事業

(1) 地域づくりイノベーションプラットフォーム構築事業

県内の地域づくり団体及びその助成団体等で情報や課題を共有し、各団体間のネットワークの拡充強化を図ることで、地域活性化を推進する事業である。

令和3年度は、県内の助成金情報と地域づくり事例等を紹介するメールマガジンを配信した他、市町村及び助成団体を対象として、地域課題への対応方策等について学ぶ講演会「コロナ禍における問題設定から助成評価、次のアクションまで」と参加者によるワークショップを実施した。

(2) 地域づくりイノベーション事業（先導的モデルの育成支援）

令和元年度より開始した県の委託事業として、県内の地域づくり団体等が行っている地域づくり活動を持続可能な活動やコミュニティビジネスに定着させるため、地域づくり活動の専門家や関係機関の支援によるハンズオン支援を行いながら、先導的モデル団体として育成することを目的に事業費を補助する事業である。

3年間で多様な先導的モデル団体を前期4団体・後期4団体併せて8団体育成することを目標に掲げ、令和3年度は後期4団体の事業に対し514万2,813円の補助を行った。

なお、補助金交付団体及び事業内容は、次のとおりである。

No	【後期】 団体名	推薦 市町村	事業名	事業内容
1	特定非営利活動法人 おきなわグリーンネット ワーク	八重瀬町、 豊見城市	海と土と農家を守る環境保 全型農業への挑戦	「ベジベット」(土壌台)の活用により環境 保全型(赤土等流出防止)の農業の普及を目 指すとともに、栽培した島野菜の販売を通し た地域活性化を図る。
2	久高島結回の会	南城市	久高島ハタス(畑)の学校 ～食の恵み、知恵を恵みを 耕す～	麦畑を耕すサポーター「ハタス麦学校」によ る交流促進や高齢者による知恵を活かした民 具の製作・販売の他、民具の作り方や家庭行 事等を記録し、伝統文化の継承にも取り組む。
3	石垣市北部農村集落活 性化協議会	石垣市	石垣北部の農を繋げ広げる 『ゆんたみコミュニオン(仮)』 の設立運営	地域内で栽培した食材の地域内循環を促す とともに、高齢者と次世代間の相互交流を 図る場を創出する他、葉物を活かしたコミュニ ティづくり先進地リサーチを行う。
4	千立公民館	竹富町	千立憲章制定事業～住民 による千立集落の保全と継 承を目指して～	集落の文化と暮らしを守る手段として千立 憲章及び適正ルールの制定を通じた地域活 性化を目指して、関連文献集めや県内の憲章 制定地への研修を行う。

6. 地域づくり団体活動事例集作成事業

県の委託事業(単年度)として、令和4年5月に本土復帰50周年を迎えるにあたり、県内の地域づくり活動の事例集の発行や地域に貢献した団体への表彰、地域づくり活動の意識醸成を図ることを目的に、県内各圏域・地域の事例の情報収集、調査・分析、整理を行う事業である。

令和3年度は、県内地域づくり活動を98事例収集・整理し、先進事例15団体の記事を作成した。

II 理事会・総会等運営状況

1. 理事会

開催年月日	審議事項等
令和3年4月1日(木) (書面決議)	(1) 代表理事(専務理事)選定の件
令和3年5月24日(月) (オンライン会議 システム使用による Web会議)	(業務報告) 代表理事の職務執行状況報告 (1) 令和2年度事業報告及び決算承認の件 (2) 任期満了に伴う役員を選任の件 (3) 定時総会招集の決定の件
令和3年6月24日(木) (オンライン併用 ハイブリッド型会議)	(1) 代表理事(会長及び専務理事)選定の件 報告事項 ・休眠預金活用事業について
令和4年1月20日(木) (書面決議)	(1) 沖縄県地域振興協会事業調査委員の選任の件 (2) 沖縄県地域振興協会事業調査委員会への諮問の件
令和4年2月21日(月) (オンライン会議 システム使用による Web会議)	(業務報告) 代表理事の職務執行状況報告 (1) 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認の件 (2) 諸規程の制定及び一部改正の件 (3) 協会「コンプライアンス規程」に係る担当理事の件 報告事項 ・事業調査委員からの答申について
令和4年3月17日(木) (書面決議)	(1) 理事の選任の件 (2) 臨時総会の決議の省略についての承認の件

2. 総会

開催年月日	議決(承認)事項
令和3年6月24日(木) (オンライン併用 ハイブリッド型会議)	(1) 令和2年度決算の承認の件 (2) 任期満了に伴う役員を選任の件 報告事項 ・令和2年度事業報告の内容報告の件
令和4年3月31日(木) (書面決議)	・理事の選任の件

3. 事業調査委員会運営状況

開催年月日	審議事項
令和4年1月28日(金)	(1) 実施事業等の効果検証 (2) 地域人材育成のための新規事業の検討 (3) 新規事業に係る財源の検討 (4) 今後の協会の在り方について